

第595回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

テレビ番組

「Nスタにいがたスペシャル ソチの輝き永遠に～県人メダリストの軌跡～」



平成 26 年 3 月 17 日

BSN新潟放送

第595回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成26年3月17日(月)午前11:00~

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	渡辺 隆	委員	正道かほる
委員	古賀 豊	委員	小島良子
委員	行形貴子	委員	佐藤元

委員側欠席者

委員	高井盛雄	委員	佐々木広介
----	------	----	-------

放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
常務・編成局長	水田義雄	営業局長・RC長	斎藤和利
報道制作局長	五十嵐幹史	説明員	報道制作局情報センター報道担当
		プロデューサー	石山泰

事務局

事務局長	小原弘志	(社長室長)
事務局員	増山由美子	(考查広報部長)

4. 議題

- 報告事項
4月の新番組、単発番組について
- 審議事項
テレビ番組

「Nスタにいがたスペシャル

「ソチの輝き永遠に~県人メダリストの軌跡~」(47分番組)

放送日時 3月7日(金)15:00~15:47

5、議事の概要

~審議番組に関する委員の主な意見~

選手の幼少期からの頑張りがアーカイブ映像で見られ、またこれまで知らなかつた人間像が立体的に描かれていて、見ごたえのある番組だった。

メダルを取つた選手以外の県人選手の健闘も伝えていた構成がとても良かった。
制作者の誠実さが感じられた。

平野選手みたいになりたいという子どもたちのために、どこで練習できるとかどんなクラブがあるのかなどの情報を紹介してあげてほしかつた。

選手の家族の支えや地元の応援など、周りの人たちの思いがよく描かれていた。

パラリンピックにも県人選手が出場しているが、パラリンピックの結果が出ていない時期での放送は、タイミングとしてどうだったのか？

生まれて間もない清水礼留飛選手の映像と、ご両親が命名に込めた思いを語るインタビューに感動した。貴重な映像だ。

制作する上でのドラマ性と記録性、そのバランスが難しいと感じた。制作者も苦労したと思うが、ドラマ性をあまり強調しない作りの方がよかつたのではないか。

選手のコメントの引き出し方がうまい。他では聞けないようなコメントが番組を充実させた。

小学生や中学生に是非見てもらいたい番組である。

せっかく新潟市にアイスリンクができたのだから「次のオリンピックにはここからスケートの選手が羽ばたいてほしい」というようなメッセージがあつたら、また広がりが生まれたのではないか。

淡々としたナレーションで、落ち着いて見ることができた。

~石山プロデューサーから~

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

3人のメダリストの活躍だけでなく、それを支える家族や周囲の絆、そして「地元の子どもたちが感じた誇りや選手への憧れが、未来へと繋がっていく」ということを描きたかった。メダリスト以外の県人選手も皆健闘し、地元への感謝の言葉や未来につなげたい思いを語っていたので、そのことを伝えられる構成にした。

放送のタイミングについては、ご指摘のとおりパラリンピックを織り込まなかつたことを反省している。パラリンピックの県人選手についてはNスタにいがたで隨時詳細を伝えた。

アーカイブ映像は、記者総出でB S Nのライブラリーから隈なく探して見つけたもの。撮影し、残してくれた先輩方に感謝したい。